

伊賀市スポーツ推進計画 2022(令和4)年度 取組計画シート

総合目標値: 成人の週1回以上のスポーツ実施率(53.6%⇒65.0%程度)

1 基本目標 スポーツを「する」 スポーツ人口の拡大

【施策1】生涯スポーツの普及と推進

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
1	スポーツ少年 団運営事業	スポーツ振興課	少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図ります。	青少年スポーツ活動育成事業	・スタートコーチ制度移行へ向けた情報提供および養成講習会の開催(4回) ・人権(ハラスメント)講習会の開催(1回)	指導者の資質の向上を図り、指導力の強化が行える
		スポーツ少年団			・各単位団における日々のスポーツ活動(36団) ・本部長杯種目大会の開催(3回 300人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(2回 400人) ・県、東海大会への参加 ・加入案内パンフレットの作成	体力向上や単位団同士の交流、スポーツをするきっかけが提供できる。
2	総合型地域スポーツクラブ の運営	総合型地域スポーツクラブ	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	スポーツ教室開催事業	・各クラブでの教室開催(6団体 350人) ・ブロック別ミーティングへの参加	地域の身近な環境でスポーツを実施できる。
		スポーツ振興課		クラブ運営への助言	・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加 ・クラブ協議会の開催(2回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討	訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。
3	B&G海洋センター活用事業	スポーツ振興課 三重県B&G連絡協議会 指定管理者(伊賀市文化都市協会)	B&G海洋センターを活用した事業を行います	スポーツ振興事業	B&G指導員を核として、プールや艇庫などの既存施設を活用した参画型の事業を開催する。	普段体験できない遊びを通じて、参加者間の仲間づくりや、体力の向上を図る。
4	レクリエーションスポーツの普及	スポーツ推進委員 住民自治協議会	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行います。	スポーツ推進委員活動事業	・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技種目の指導(指導地域数:6地域)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる
		スポーツ振興課 スポーツ推進委員		スポーツ推進委員活動事業	・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:20人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる
		レクリエーション協会		スポーツ教室開催事業(レクリエーション協会)	・ニュースポーツ連続講習会 ・県スポーツフェスティバルへの参画 ・県レクリエーションインストラクター養成講座への参加	気軽にレクリエーション種目を楽しむことができる。

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
5	健康マイレー ジの普及	健康推進課	1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成に応じてポイントを付与し、スポーツ実施へのインセンティブを図ります。	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図ることを目的に自分で決めた目標を達成するとポイントを付与し、健康づくりや運動習慣へのインセンティブを図ります。	応募実人数:600人 応募延べ人数:1,500人	健康マイレージ事業をきっかけに、運動や健康づくりの習慣が身につく。
6	健康づくり教室	健康推進課	健康増進法に基づくメタボ予防などを目的にストレッチ体操など楽しみながら講座を行います。	各団体等からの要請に応じて、保健師やまちの講師が。昨年度より、行政チャンネルを利用した、自宅で行える健康づくりを呼び掛けています。	・出前講座回数:40回 ・まちの講師:20回 ・いが忍にん健康プロジェクト:28回	いが忍にん健康プロジェクトを活用し、自宅で運動など健康づくりに取り組める。また、出前講座では仲間と健康づくりを楽しむことができる。
7	【再掲】 総合型地域スポーツクラブ の運営	総合型地域スポーツクラブ	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	スポーツ教室開催事業	・各クラブでの教室開催(6団体 350人) ・ブロック別ミーティングへの参加	地域の身近な環境でスポーツを実施できる。
		スポーツ振興課		クラブ運営への助言	・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加 ・クラブ協議会の開催(2回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討	訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。
8	介護予防普及啓発事業	介護高齢福祉課 (社会福祉協議会へ委託)	3B体操などを活用し、体を動かすことで要介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるように図ります。	認知症・介護予防教室を開催する	開催回数100回 参加延べ人数:1,200人	教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下を予防することができる。
9	講座や教室の開催	介護高齢福祉課 生涯学習課	関係団体と連携し、新しい軽スポーツ等を体験できる場の提供など、市民が新しい楽しみを見つけられる教室を開設します。	認知症・介護予防教室を開催する	開催回数100回 参加延べ人数:1,200人	教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下を予防することができる。
		伊賀市文化都市協会	関係団体と連携し、新しい軽スポーツ等を体験できる場の提供など、市民が新しい楽しみを見つけられる教室を開設します。	スポーツ施設を活用した自主事業開催	グラウンドゴルフ大会 参加延べ人数 2,300人 フィットネス、マットエクササイズ等の10種目:参加延べ人数 5,000人 ノルディックウォーキング 参加者数 100人	スポーツを身近に楽しむことで生涯にわたり体を動かすきっかけが図れる。
10	【再掲】 総合型地域スポーツクラブ の運営	総合型地域スポーツクラブ	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	スポーツ教室開催事業	・各クラブでの教室開催(6団体 350人) ・ブロック別ミーティングへの参加	地域の身近な環境でスポーツを実施できる。
		スポーツ振興課		クラブ運営への助言	・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加 ・クラブ協議会の開催(2回) ・クラブ認知度の向上のための検討	訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。
11	【再掲】 健康マイレー ジの普及	健康推進課	1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成に応じてポイントを付与し、スポーツ実施へのインセンティブを図ります。	健康マイレージの普及	応募実人数:600人 応募延べ人数:1,500人	健康マイレージ事業をきっかけに、運動や健康づくりの習慣が身につく。
12	忍にん体操の普及	健康推進課	忍にん体操普及会と連携し、普及・啓発を行います。	忍にん体操の普及	出前講座5回延べ400人参加	出前講座等の機会を通じ、忍にん体操で、楽しみながら体を動かす習慣が身につく。

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
13	パラスポーツ の普及	障がい福祉課	「ボッチャ」など、ユニバーサルスポーツの体験・競技会をとおして広く市民へ普及・啓発を行います。	障がい者やパラスポーツへの理解を深めるため、県や関係団体等からのパラスポーツ開催案内について、周知啓発を行う。	県等からの情報提供回数:9回	障がいのある人のスポーツの参加機会の提供や、障がいのあるなしに関わらず、パラスポーツへの理解を深める
		スポーツ振興課 レクリエーション協会			三重県レクリエーション協会と連携した事業の実施 2回 市の行事等に対する協力 3事業	広く市民がレクリエーションに親しむことができる。
14	障がい者スポーツ大会への支援	障がい福祉課	障がいのある人が主体的に社会参加活動に取り組めるよう、スポーツ大会への支援を行います。	障がいのある人が主体的に取り組む活動を支援するため、障がい者団体活動の「障がい者スポーツ大会」に対し支援を行う。	障がい者スポーツ大会の参加者数:500人	スポーツなどの様々な機会に親しむことができるよう、障がいのある人が主体的に参加できる機会の充実を図る。

【施策2】子どもの体力向上

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
15	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施	保育幼稚園課	発達に合った運動遊びを取り入れた「にんにんタイム」を実施し、子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めます。	幼児の体力向上実践プログラム「にんにんタイム」	幼稚園・保育所(園)において「にんにんタイム」を設定し、発達段階に合わせた運動遊びを実践する。	子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めることができる。
		学校教育課	発達に合った運動遊びを取り入れた「にんにんタイム」を実施し、子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めます。	子どもたちの体力向上のため、ルールを工夫した鬼ごっこやけんけん、雨の日には屋内でハイハイをするなど、楽しく体を動かすことのできるトレーニング(「にんにんタイム」)を継続的に行う。	「にんにんタイム」の毎日実施	引き続き「にんにんタイム」を行い、子どもたちの体力や基礎的な運動能力の向上に努める必要がある。
16	学校体育カリキュラムの実施	学校教育課	体育授業、運動会などの機会を通して、子どもの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図ります。	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によって明らかになった自校の課題解決のため、体育の授業改善や運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組(1学校1運動)を行う。	1学校1運動を設定した学校:29校	1学校1運動に取り組み、子どもたちの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図る。
17	課外体育(クラブ活動)での専門講師の活用	学校教育課	部活動の指導について部活動指導員を配置するなど体力・競技力の向上を図ります。	中学校の運動部活動の指導について、経験と知見を有した部活動指導員を配置する(部活動指導員配置促進事業)。	部活動指導員配置人数:6人	地域の指導者の確保に努め、より充実した活動となるよう図る。
18	体力・運動能力等の調査	学校教育課	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告」を活用し、子どもの体力や運動能力を把握するとともに、課題に向けた取組の検証を行います。	小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した調査の報告書をもとに、各校で子どもの体力や運動能力、運動習慣等について分析を行い、「元気アップシート」を作成し、学校内で共有を図る。	調査実施対象児童生徒数 小学校702人 中学校713人	子どもたちの体力や運動能力の向上、運動習慣等の確立を図る。
19	ACP(アクティブチャイルドプログラム)活動	スポーツ少年団 スポーツ振興課 総合型地域スポーツクラブ	楽しみながら積極的に体を動かし身体活動の習慣化を促します。	ACP(アクティブチャイルドプログラム)実施事業	プログラムの実施(参加者数:50人)	子どもたちの体力や運動能力の向上、運動習慣等の確立を図る。

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
20	【再掲】 スポーツ少年 団運営事業	スポーツ振興課	少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図ります。	青少年スポーツ活動育成事業	・スタートコーチ制度移行へ向けた情報提供および養成講習会の開催(4回) ・人権講習会の開催(1回)	指導者の資質の向上を図り指導力の強化が行える。
		スポーツ少年団			・各単位団における日々のスポーツ活動(36団) ・本部長杯種目大会の開催(3回 300人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(2回 400人) ・県、東海大会への参加 ・加入案内パンフレットの作成	体力向上や単位団同士の交流、スポーツをするきっかけが提供できる。
21	【再掲】 レクリエーションスポーツの普及	スポーツ推進委員 住民自治協議会	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行います。	スポーツ推進委員活動事業	・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技種目の指導(指導地域数:6地域)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる
		スポーツ振興課 スポーツ推進委員		スポーツ推進委員活動事業	・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:20人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる
		レクリエーション協会		スポーツ教室開催事業(レクリエーション協会)	・ニュースポーツ連続講習会の開催 ・県及び市スポーツフェスティバルへの参画 ・県レクリエーションインストラクター養成講座への参加	レクリエーションに親しむことで、楽しく自然に子どもの体力を向上することができる。
22	【再掲】 総合型地域スポーツクラブの運営	総合型地域スポーツクラブ	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	スポーツ教室開催事業	・各クラブでの教室開催(6団体 350人) ・ブロック別ミーティングへの参加	地域の身近な環境でスポーツを実施できる。
		スポーツ振興課		クラブ運営への助言	・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加 ・クラブ協議会の開催(2回) ・クラブ認知度の向上のための検討	訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。

2 基本目標 スポーツを「みる」 スポーツ活動の普及・啓発

【施策3】みるスポーツの推進

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
23	伊賀FCくノー三重との連携	スポーツ振興課	地元で活動する「伊賀FCくノー三重」の試合や市民交流イベントなどの情報を提供し、市民にスポーツを身近に感じてもらえる機会の提供に努めます。	・伊賀FCくノー三重に関する情報提供 ・伊賀フットボールクラブ助成事業	HPやSNS等の媒体を活用したチーム情報の発信(随時)	ホームが一体となったチーム運営を目指す
		・株式会社伊賀FCくノー三重 ・特定非営利活動法人伊賀FCくノー			【株式会社伊賀FCくノー三重】 ・なでしこ1部リーグに参戦し、優勝を目指す。 ・新たなファンを獲得する。 【NPO法人伊賀FCくノー】 スポーツ振興・地域貢献事業(ジュニアサッカー育成、保育園訪問、伊賀ブランド発信など)の実施	ホームが一体となったチーム運営を目指す 女子サッカーの普及と、伊賀ブランドイメージアップ
24	スポーツイベントなどの発信	スポーツ振興課 各実施主体	様々な媒体を活用し、市内(全国)におけるスポーツイベントや全国大会出場者などスポーツ選手などの紹介を通じて、スポーツへの関心を高められるよう広報を行います。	・全国大会等出場者奨励事業 ・スポーツ行事等の周知案内	【伊賀市】 ・全国大会出場者の表敬訪問、及び優秀成績者のHP等への掲載(随時) ・広報へのコラム連載(12回) ・スポーツへの関心を高めるため、HP,SNS等への掲載(随時) ・スポーツイベントの開催周知 【スポーツ協会】 ・スポーツ広報誌『忍び』の発行 (年2回) 【総合型スポーツクラブ】 ・各総合型スポーツクラブによる広報(随時)	スポーツ行事の参加機会の確保と、関心を高める

【施策4】地域活性化やふれあい機会の醸成

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
25	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	市民へのスポーツの実技指導や地域スポーツに関する指導助言を行います。また、スポーツ推進委員に対する研修の充実を図ります。	スポーツ推進委員活動事業	・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:20人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる
26	地域でのスポーツ行事の開催	住民自治協議会区(自治会) スポーツ推進委員	各地域での運動会や体験会を通じて市民へのスポーツ活動の関心を深め、体を動かすことで体力向上や親睦を深める交流を行います。	スポーツ推進委員活動事業 スポーツ教室開催事業	・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事等での実技種目の指導(指導地域数:6地域)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる
27	学校体育施設開放事業	学校教育課 スポーツ振興課	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放します。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図ります。	学校体育施設開放事業	登録団体に学校施設を開放する(通年)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる

3 基本目標 スポーツを「ささえる」 スポーツ環境の体制整備・施設最適化

【施策5】競技スポーツの支援・連携

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
28	全国大会出場者支援事業	スポーツ振興課 スポーツ協会	全国大会へ出場する選手を称揚し、激励金の交付や表彰状の付与を行い選手の競技意欲の向上を図ります。また、懸垂幕の掲出やパブリックビューイングなど、応援する場の設置を行います	・スポーツ振興事業 ・社会体育振興事業委託 ・伊賀市スポーツ協会運営補助	【伊賀市】 ・全国大会出場者を称え、スポーツに対する関心を高める(随時) 【スポーツ協会】 ・優秀選手等の表彰(3個人、9団体) ・全国大会出場者派遣費助成	全国大会出場者を支援すること で、スポーツへの関心を高める。
29	スポーツ協会運営支援事業	スポーツ振興課 スポーツ協会	競技種目の技術力向上を図るため、各種目協会及び団体が所属するスポーツ協会への支援を行います。	・社会体育振興事業委託 ・伊賀市スポーツ協会運営補助	【伊賀市】 スポーツ協会の運営を支援するとともに、競技力の向上を図る。 【スポーツ協会】 種目競技における競技力の向上を図る。	加盟団体を支援することにより スポーツの底辺が支えられること につながる。

【施策6】指導者・ボランティアの人材育成と団体の自主財源の確保

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
30	指導者の育成	指導者協議会 スポーツ協会 スポーツ少年団 総合型地域スポーツ クラブ スポーツ振興課	各団体が自主的に指導者協議会などを活用し、専門性を確保しつつ後継の指導者を育成します。	社会体育振興事業委託	各団体において研修会や講習会の開催(随時)	研修会等が開催されることにより指導者の育成につなげることができる。
31	指導者のスキル向上	スポーツ協会 スポーツ少年団 総合型地域スポーツ クラブ スポーツ振興課	総合型スポーツクラブの認証制度への移行などにより、各団体が自主的に競技種目の指導者スキル向上を行います。 ※認証制度とは、総合型地域スポーツクラブ全国協議会が定める登録基準を具備していると認められる登録クラブを認証することです。	社会体育振興事業委託	各団体において研修会や講習会の開催(随時)	研修会等が開催されることにより指導者の育成につなげることができる。
32	ボランティアの募集	各実行委員会 スポーツ協会 スポーツ振興課	スポーツイベント開催時に出場者募集と併せてボランティア募集を行ない、円滑なイベント実施と「ささえる」ことでのやりがいを育みます。	スポーツ振興事業	【伊賀市】 ボランティア活用の制度化 【スポーツ協会】 在り方などの検討	参加することでスポーツへの理解が進むとともに、運営側の負担軽減にも資する。
33	各種イベントの見直し	各実行委員会 スポーツ振興課	各実行委員会、スポーツ協会等とイベントの見直しについて検討します。	スポーツ振興事業	【伊賀市】 在り方も含め、継続的に協議を行う。	スポーツ事業の活性化
34	各団体の安定的・自立型運営	各団体 スポーツ振興課	事務局の在り方等を含め各団体と協議します。	スポーツ振興事業	在り方も含め、継続的に協議を行う。	スポーツ事業の活性化

【施策7】スポーツ施設整備と利便性の向上

通番	事業名	担当課 関係団体	概 要	個別事業の名称など	令和4年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果
35	スポーツ施設 整備事業	スポーツ振興課	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき老朽化が進む施設の改修や類似施設の統廃合、多機能化を行い競技環境の向上を図ります。また、新たなスポーツニーズ(アーバンスポーツ等)にも対応した施設の整備に向け取り組みます。	体育施設整備事業	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき施設の改修を図る。 また、新たなスポーツニーズ(アーバンスポーツ等)にも対応した施設整備の検討	安全な競技環境の整備が図られる。
36	施設維持管理 事業	スポーツ振興課 各指定管理者	日常の管理や予約受付等を行ない、安全で快適な競技環境を提供します。	体育施設維持管理事業(指定管理事業) 市直営施設維持管理事業	利用者の利便性の向上を図りつつ施設の適切な維持管理及を行うため、指定管理者に業務を委託する。	指定管理者による維持管理で修繕管理などが迅速に行えるとともに、自主事業の開催などでスポーツ実施の機会が確保できる。
37	学校体育施設 開放事業【再掲】	学校教育課 スポーツ振興課	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放します。施設を有効活用しスポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図ります	学校体育施設開放事業	登録団体に学校施設を開放する(通年)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しむ環境を提供できる
38	施設利用の利便性の向上	スポーツ振興課 各指定管理者	SNSを活用した予約システムの導入を検討するとともに、施設案内などの情報を充実させ利用者の利便性の向上を目指します。またバリアフリー環境の充実を施設改修に併せ実施する等使いやすい環境を整えます。	体育施設整備事業	・伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき施設の改修を図る。 ・予約システムなど利便性向上に向けた検討を引き続き行う。 ・パラスポーツ普及に関する用具等の配備を行う。	安全・快適な競技環境の整備が図られる。